



注意して いただきたいこと

盗聴やなりすましの危険性も

個人情報 は入力しないで

00000JAPANは緊急時の利便性を最優先にしているため、パスワードによる認証や無線区間の暗号化を行っていません。そのため、悪意のある人が特殊なツールを用いた場合、通信内容を傍受される可能性があります。

00000JAPANになりすましたサイトを被災地に設けて、個人情報を盗み取ろうとする人が出てくるかもしれません。

そこで、Wi-Bizでは00000JAPANを利用する際には、個人情報（銀行の口座情報など）の入力を避けていただくようお願いしています。また、通信を暗号化して行うVPNサービスの利用は、個人情報を守る上で有効な手立てになります。VPNサービスに関してはご契約先の通信事業者にお問い合わせ頂くか、スマートフォンのアプリケーションサービスを検索するなどして、予め使えるよう準備しておくのも良いでしょう。



スマートフォンでの接続手順

- 1 設定メニューでWi-Fiの項目を選択
- 2 Wi-Fi機能をオンにする
- 3 ネットワーク一覧から「00000JAPAN」を選択

一般社団法人 無線LANビジネス推進連絡会

設立	2013年1月31日(2019年9月1日一般社団法人に移行)
会員	146企業・団体(2020.10.1現在)
会長	北條 博史(NTTブロードバンドプラットフォーム株式会社)
副会長	櫻井 浩(JR東日本メカトロニクス株式会社)
副会長	田中 泰光(日本ヒューレット・パッカード株式会社)
監事	齋藤 嘉宏(株式会社ミライト)
顧問	小林 忠男(802.11ah推進協議会)

運営担当会員 (50音順)

(株)アイランドシックス / (株)NTTドコモ / NTTブロードバンドプラットフォーム(株) / (株)協和エクシオ / KDDI(株) / JR東日本メカトロニクス(株) / シスコシステムズ(同) / ソフトバンク(株) / (一社)日本インターネットプロバイダー協会 / 日本コムシス(株) / 日本ヒューレット・パッカード(株) / (株)パツファロー / (株)ピーマップ / 富士通(株) / (株)フルノシステムズ / (株)ワイヤ・アンド・ワイヤレス

連絡会の活動

- 無線LANビジネスの更なる発展と拡大を目的とした会員間の情報交換並びに共有
- 総務省発出の「無線LANビジネスガイドライン」を踏まえた無線LANの健全な普及・推進活動の取り組み
- 無線LANに関する 新技術調査、利用普及に向けた取り組み
- 安全な無線LAN利用に向けた 利用者に対する啓発活動、情報発信
- 無線LANの専門情報メールマガジンの毎月発行、専門書籍「Wi-Fiのすべて」編集発行

お問い合わせ

〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-2-4 岩本町ビル 3F
一般社団法人 無線LANビジネス推進連絡会
URL <https://www.wlan-business.org/>

00000JAPANについて詳しくはこちら 
[https://www.wlan-business.org/
customer/introduction/feature](https://www.wlan-business.org/customer/introduction/feature)



00000JAPANにご関心をお持ちの自治体・企業の皆様は、
Wi-Bizにご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

※00000JAPANは(一社)無線LANビジネス推進連絡会の登録商標です



災害の時にあなたと家族を守る!

Wi-Fiを無料開放します

大規模災害時に提供されるWi-Fiサービス「00000JAPAN」は、安否確認や防災情報収集の有力な手段となります。あなたとご家族の命を守るために、使い方をマスターしておきましょう。



00000JAPANとは どんなもの？

大規模災害発生時に

公衆無線LANが 無料で使えます

安否確認や情報収集の有力手段に

台風や豪雨、地震などで大きな被害が発生すると、携帯電話網がダメージを受け、つながりにくくなることがあります。こうした時に、安否確認や情報収集の有力な手段となるのが、災害時無料Wi-Fiサービス「00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」です。

コンビニや駅など、人が集まる場所の多くに通信事業者のWi-Fiスポット(公衆無線LANのアクセスポイント)が設けられています。これらをうまく使えば、スマートフォンの契約通信量(いわゆる「ギガ」)を節約して、快適な通信ができますが、通信事業者の契約者以外は利用することができません。

大規模災害時に、被災地域でWi-Fiスポットを、誰でも使えるようにして、安否確認などに活用してもらおうというのが、00000JAPANです。無線LANに関係する会社で構成する一般社団法人 無線LANビジネス推進連絡会(Wi-Biz)が、通信事業者をはじめとする会員企業・団体と協力して推進しており、各地のいろいろな災害の時に発動され、利用されています。

最近では、通信事業者のWi-Fiスポットだけでなく、自治体の公共施設や学校・集会所などに整備しているWi-Fi設備を利用して00000JAPANを提供するケースが増えています。

使い方

Wi-Fi機能をONにして

画面の 「00000JAPAN」 を選択する

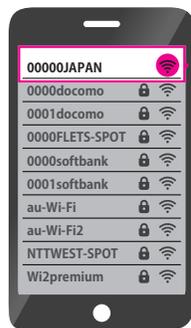
被災地で、00000JAPANを提供しているWi-Fiスポットの近くに行けば、誰でも、簡単な手順で使うことができます。

例えばスマートフォンで利用する場合は、次のようになります。

- ① 画面の「設定」のアイコンをタップし、「Wi-Fi」を選択
- ② Wi-Fi機能をONにする
- ③ 近くで稼働しているWi-Fiネットワークの一覧が表示されるので、上位に表示されている00000JAPANをタップする

これだけで、00000JAPANに接続され、インターネットが利用できるようになります。事前の設定やパスワードの入力は必要ありません。

インターネットに接続されれば、メールやSNSで家族や友人の安否確認ができますし、Webやニュースアプリによる災害情報の入手も可能になります。



00000JAPANは
ネットワーク選択画面の
上位に表示される

Wi-Fi機能をオンにして、ネットワーク一覧から00000JAPANを選択すると、インターネットが使えるようになります

どこで使える？

町のWi-Fiスポットや避難所などで

提供情報は Wi-Bizのサイトで

00000JAPANが利用できる場所を知る確実な手段の1つに、通信事業者のWebサイトがあります。数多くのWi-Fiスポットを展開しているNTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンクなどの通信事業者は、00000JAPANの提供を開始すると、自社のWebサイトで提供エリアなどを告知します。これらのサイトでは、Wi-Fiスポットの場所も検索できます。

災害時には、通信事業者が避難所などに臨時のWi-Fiスポットを設置して00000JAPANを提供することもあります。

自治体や大学などが、フリーWi-Fi用などに構築した無線LAN設備を使って00000JAPANを提供するケースも多くなっています。これらも自治体や大学などのWebサイトで告知されます。

Wi-Bizでは、自治体や大学などを含むすべての00000JAPANの提供状況を取りまとめ、Webサイトで公開しています。

00000JAPANはどこで使えるか

右のQRコードをスマートフォンで読み取り、Wi-Bizのサイトにアクセスすると、今ここで00000JAPANが利用できるかを知ることができます。点線から切り離してカードホルダーに入れておけば、いざという時に役に立ちます。



<https://www.wlan-business.org/archives/category/00000japan>